

## 早期の斜面の安定化対策で鉄道の早期な運行再開

### 被害状況と対策内容

- 平成27年12月に**地すべり性の崩落**により線路内へ土砂が流入し、**脱線と運休する事態**が発生。
- 被災箇所は**河川と国道が近接**し、**更なる被害拡大を緊急に防止する必要**。
- 推進費を活用して、早急に**斜面上部の地すべり対策を実施**。

### 効果

- 再度災害防止が図られ、**JR山田線の早期運行再開**と河川や道路への**被害拡大を防止**。

かどま かどまやまこくゆうりん  
 (地区名) 門馬地区 (岩手県宮古市門馬山国有林)  
 (事業名) 国有林野内治山事業  
 (事業実施主体) 林野庁 (事業費: 3.34億円(国費3.34億円)) 【被災状況(詳細)】

(地区概要)  
 JR山田線は、岩手県盛岡市から宮古市を  
 経由し釜石市までを結ぶ重要な路線。  
 国道106号線は、盛岡市と宮古市を  
 結ぶ県管理の幹線道路で緊急輸送路  
 に位置づけられている。

【被災状況(全景)】  
 ※平成27年12月11日地すべり発生



【対策内容】  
 排土工 V=12,300m<sup>3</sup>  
 グランドアンカー工 N=126本

【対策状況(全景)】



【対策状況(詳細)】



※地すべりの影響範囲は斜面上部(国有林)と斜面下部(鉄道敷地)にまたがり広範囲であったため、林野庁とJR東日本が連携し、斜面上部→下部の順で対策を実施。



- ・ 関係者間の連携協力により、**当初予定より9か月早い**平成29年11月5日（1年11か月ぶり）に**運行を再開**。